

WHOの飲料水の基準

WHOの飲料水水質ガイドラインにおけるトリチウムのガイダンスレベル（10,000Bq/L）は、ガイダンスレベルのトリチウム濃度の水を、1年間毎日2リットル（年間730リットル）摂取したと仮定した場合に、個人の年間線量が 0.1 mSv となるように計算された値。

【具体的な計算式】

$$\frac{\text{年間線量 } 0.1 \text{ mSv}}{\text{トリチウムの線量換算係数}^{\ast} \times \text{飲料水の年摂取量}} = \text{飲料水中のトリチウムのガイダンスレベル (10,000 Bq/L)}$$

トリチウムの線量換算係数[※] (1.8×10⁻¹¹ Sv/Bq) × 飲料水の年摂取量 (730 L/年と仮定)

※線量換算係数とは、1ベクレルを摂取した時の線量（預託等価線量又は預託実効線量）のこと。ここでは成人の線量換算係数を用いて計算している。

出典：国立保健医療科学院飲料水水質ガイドライン第4版（日本語版・Web公開用）

世界保健機関（WHO）の飲料水の基準のより詳しい解説については、国立保健医療科学院ホームページで公開されている、「飲料水水質ガイドライン 第4版」の日本語版・WEB公開用」をご覧ください。

https://www.niph.go.jp/soshiki/suido/WHO_GDWQ_4th_jp.html